

10月2日：VN 指数は横ばい (VN-Index +0.10%)

- VN 指数は取引開始後から買いが優勢となり、指数は上昇へと向かった。
- 飲食料品、ビングループ関連といった銘柄に買いが入り、指数は午前中を通して上昇していた。
- しかし午後に入ると売り圧力が高まり指数は下落し始めた。銀行セクターが売られたことで、指数は午前の上昇を消し去った。10月1日から施行された中長期のローンに対する短期ローンの割合を34%から30%に減らす省令も投資家心理に悪影響を与えた。このことで銀行システムの質の向上は期待できるが、短期的にはコスト増やマージンの縮小が影響を与えると予想される。
- その後は前日終値付近で上下し、最終的にはわずかに上昇して終えた。
- 280 銘柄が上昇、201 銘柄が下落、変わらずは69 銘柄と上昇銘柄数が上回った。
- 流動性は低下し、売買代金は11.4兆ドンだった。

VN30 指数も上昇 (VN30 +0.07%)

- 大型株で構成する VN30 指数は16 銘柄が上昇、12 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずだった。
- GVR (+4.62%) が最も上昇、VRE (+2.87%) がそれに続いた。
- 一方、TPB (-1.96%)、GAS (-1.54%)、TCB (-1.49%) などが下落していた。

セクター・個別株の動き

- ANV (+6.94%)、VHC (+2.66%) が上昇。米国、中国、日本などに対する年初来9か月の水産品の輸出が回復の基調を見せていることが好感された。
- MSN (+1.44%) は私募増資による1.43億株の発行を発表したことで上昇した。
- 外国人投資家は1,770億ドンの買い越しとなった。SSI と DXG が最も買い越されていた。一方、特に目立った売り越し銘柄は無かった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。